

■ 蛍光ピンクのご指定方法

【オブジェクトのカラーについて】

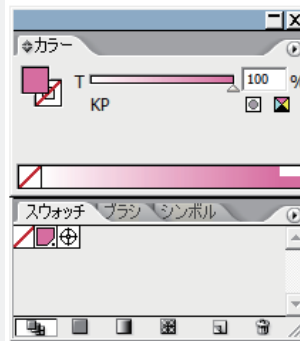
蛍光ピンク (KP) を使用する場合、データ作成方法は以下の2つの方法のいずれかにてお願い致します。どちらの方法でデータを作成しているかを、ご注文時のオプション設定で選びください。
※店頭や営業へのご注文の場合には、データご入稿時に担当までご指示ください。

【方法1】 特色で指定する (オススメ!)

オブジェクトのカラーを、テンプレート上のスウォッチにあるスポットカラー“KP”で作成します。

ご注文時にオプションで選びください。

☒ 「**蛍光ピンク版 (KP)**は特色で作成済み」
“KP”の特色で作成されていないデータは、蛍光ピンクは印刷されません。通常のCMYKとなります。ご注意ください。



【方法2】 マゼンタ版を蛍光ピンクに置き換えて印刷

CMYKの印刷のうち「M(マゼンタ)」のインクの代わりに、蛍光ピンクを使用します。
M(マゼンタ)が使われている部分は全て蛍光ピンクの再現になりますのでご注意ください。

ご注文時にオプションで選びください。

☒ 「**マゼンタ版 (M)**を**蛍光ピンク版 (KP)**に置き換え希望」
ご指示の無い場合はマゼンタで印刷となります。
必ず置き換えの旨をご指示ください。

＼ M版をKP版に置き換え! ／

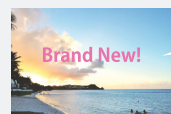


△ **全てのMの部分が
蛍光ピンクに置き換わ
ります。ご注意ください。**

【画像の貼り込みについて】

画像部分に蛍光ピンクを使用する場合は、別途「**マルチカラー変換サービス**」(有料)との併用が必要です。
蛍光ピンク部分をオブジェクトのみで使用する(画像に蛍光ピンクを使用しない)場合には、そのままご入稿が可能です。

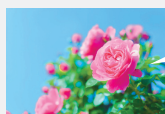
○画像は使用しているが、蛍光ピンクはオブジェクトのみで使用



テキスト部分をKPにしたい!

このような場合には
テキスト部分を特色“KP”指定でお作りください。

× 画像部分に蛍光ピンクを使用



お花の部分は
蛍光ピンクを使いたい!

このような場合には店舗スタッフまでお問い合わせください。

「マルチカラー変換サービス」とは

画像についてもKP(蛍光ピンク)を追加して印刷することで、通常のCMYKよりも色の表現が豊かになります。
ただし、データ上でKP用のデータを作成する必要があり、自然な画像に仕上げるにはKP版データの作成とともにCMYK版についても微妙な調整を伴います。「マルチカラー変換サービス」では、お預かりしたRGBデータから、CMYK+KP(蛍光ピンク)用の画像に変換を行います。(有料サービスとなります。店舗スタッフまでお問い合わせください。)
画像によって、KPを使用した場合に効果が出易いものと、出にくいものがございます。
[効果の出易い画像] 彩度の高いピンク・オレンジ・パープルの画像や、明るい肌の画像。
[効果の出難い画像] 暗い画像、彩度の低い画像、暖色が含まれない画像。

◎制作レイヤーか新しいレイヤー上で作業をお願いします。

◎文字はアウトライン化して(書式メニュー→アウトラインを作成)ご入稿ください。

◎入稿用データは別名保存し、開いたバージョンで保存をお願いします。

(cs6で作成した場合は、cs6で保存して下さい。)

